年　　組　　班
（代表者氏名　　）

知立市への政策提言

提言

若い世代と高齢者との交流の機会を増やす

ねらい

○　高齢者と若者の交流を増やし、高齢者の生きがいにする
○　若者（学生）が高齢者のことについて少しでも知り、少子高齢化の現状や介護職について興味・関心がもてるようにする
○　施設利用者の寂しさを軽減し、施設でくらす高齢者の方々の日常をさらに充実したものとする

方法

知立市の中学生や高校生がボランティアとして高齢者施設へ出向き、交流する

具体策

○　高齢者とするゲームや遊びなどを学生が考える（例：クイズやビンゴ、折り紙など高齢者が座ったままで楽しめる簡単なもの、スマホで麻雀などのオンラインゲーム）
○　高齢者の話をきき、対話する
○　部活動の発表の場とする（吹奏楽、演劇、合唱、ダンスなど）
○　事前に高齢者体験や高齢者にかかわるクイズなど参加型学習をおこない、学生の興味を引く
○　ツイッターやインスタグラムなどを一緒にやる

予想される効果

○　施設で生活する高齢者→認知症の予防、施設での生活が充実する
○　施設設置者、管理者、職員→他の仕事に時間をさくことができる。介護者が多くなる
○　中学生、高校生→昔のことを知ることができる、想像力が育てられる、楽しめる
○　その他→入所者を預けている人が安心できる。ツイッターやインスタグラムを通じて、
直接会うことができなくても様子を知ることができる自分が介護を受ける立場になったときに安心

課題

○　受け入れてくれる施設はあるか
○　ボランティアに興味を示してくれる学生がどのくらいいるか